

福祉サービスの組織と経営

専門教育科目 / 1 単位 / T 授業

担当教員 山崎 睦男

■使用テキスト

社会福祉士養成講座編集委員会(編)『新・社会福祉士養成講座第11巻 福祉サービスの組織と経営 第5版』
中央法規出版 2017

◆参考テキスト

講義概要・一般目標

近年における医療の発展や少子高齢社会の到来は、社会福祉制度の根幹からの改革を促し、社会福祉基礎構造改革、介護保険制度、障害者自立支援制度、新たな子育て支援制度などへと変化を遂げ、そうした福祉サービスのシステムの変化は膨大なニーズを生み出そうとしている。この分野を新たな産業として位置づけ、民間企業を含めた様々な主体の参入へと規制緩和が進められてきている。

こうした福祉分野の様々な主体の参入における連携と競合は、そこに経営の必要度が増し、新たな時代における福祉サービスの提供組織とその新たな経営モデルの確立が求められている。

また、その中において、利用者の権利擁護の観点から踏まえた福祉サービスの提供や経営主体である公益性と非営利性を備えた社会福祉法人の在り方が問われている。

そのため、社会福祉士は相談援助業務を中心とした職務から、幅広く福祉サービス全体の仕事に関わって行くことが期待されている。福祉サービスの組織や経営に関する知識・技術などその基本的な事柄について修得する。

到達目標

- 1) 福祉サービスにおける組織と経営について説明できる。
- 2) 福祉サービスにかかわる組織や団体について説明できる。
- 3) 福祉サービスの組織と経営の基礎理論について説明できる。
- 4) 福祉サービスの管理運営の方法—サービス管理について説明できる。
- 5) 福祉サービスの管理運営の方法—人事管理と労務管理について説明できる。
- 6) 福祉サービスの管理運営の方法—会計管理と財務管理について説明できる。
- 7) 福祉サービスの管理運営の方法—情報管理と戦略的広報について説明できる。

実務経験のある教員による教育

科目担当者（山崎）は、社会福祉法人の経営やサービス現場への支援（社会福祉協議会）での5年以上の実務経験に基づき、実践的な視点から「福祉サービスの組織と経営」にかかわる知識と方法の習得を目的とした添削指導を行う。

評価方法

科目単位認定試験により評価。

学習指導

第1章 福祉サービスにおける組織と経営

この章のポイント

福祉領域における「サービス」や「経営管理」とは何か、その特徴を理解した上で福祉サービスがどのような組織により、どのような方法で展開されているのかを学ぶ。

第2章 福祉サービスにかかわる組織や団体

この章のポイント

法人とは何かの基本的理解を踏まえ、福祉サービス提供にかかわる組織や団体（社会福祉法人、特定非営利活動法人、その他の法人など）について、その特徴を理解する。

第3章 福祉サービスの組織と経営の基礎理論

この章のポイント

「戦略」「事業計画」「組織」「管理手法」「集団の力学」「リーダーシップ」など組織と経営についての基本的な知識、理論について学ぶ。

第4章 福祉サービスの管理運営の方法① サービス管理

この章のポイント

福祉サービス提供組織のマネジメントは、「組織中心」から「顧客中心」へと、大きな転換が迫られてきている。

サービス管理運営の方法としての「マーケティング」「サービスの質の評価」「リスクマネジメント」のあり方を学び、今後の福祉サービスのあり方について理解を深める。

第5章 福祉サービスの管理運営の方法② 人事管理と労務管理

この章のポイント

人事・労務管理の目的は経営戦略や経営目的の実現、職員の成長と自己実現を図ることをねらいとしている。福祉職場の特徴に立脚した、人事・労務管理の手法や人材育成のあり方について理解を深める。

第6章 福祉サービスの管理運営の方法③ 会計管理と財務管理

この章のポイント

企業とは異なる特殊な性格を有する社会福祉法人の財務管理（財産や債務の在り高や収支をコントロールする営み）の考え方を学び、財務管理の基礎となる情報である財務諸表の概要とその見方、使い方を習得する。

第7章 福祉サービスの管理運営の方法④ 情報管理と戦略的広報

この章のポイント

利用者主体の福祉サービスを提供するためには、「情報」の果たす役割が重要であり、特に、急速に発展する情報通信技術を活用し、効果的にサービスを提供しようとする取り組みや、福祉サービスの利用時における選択権の保障など、利用者本位のサービス提供を推進するために「情報」を多面的に理解しておくことが必要である。

事業経営における情報の活用、利用者への情報開示、個人情報保護、戦略的広報（パブリック・リレーションズ）について理解を深める。